公益社団法人霧島青年会議所　２０１９年度　第四回　理事会　議事録

開 催 日：平成３１年４月３０日（火）

開会時間：２０時２０分

閉会時間：２３時００分

開催場所：ＪＣ会館

1. 開会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　　橋　正貴　 君
2. JCIクリード唱和　　　　　　　　　　　　　　　　板元　幸仁　君
3. JCIMISSION及びJCI Vision唱和　　　　　　　鈴吉　美絵　君
4. JC宣言文朗読並びに綱領唱和　　　　　　　　　　　田上　俊介　君
5. 霧島JC未来ビジョン唱和　　　　　　　　　　　　　盛田　啓仁　君
6. ２０１９年度スローガン唱和　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　同上
7. 理事長挨拶

理事長　藏元　国明君

　本日はゴールデンウィークの中、出席いただきありがとうございます。また、仮会員の皆様もオブザーブとして参加頂きありがとうございます。４月に入り各種団体の総会等に呼ばれることも多くなりました。その中で、他団体の団体長様と話をする機会も多く、どの団体も言われますのが会員減少については、どこも同じように頭を悩ませているとのことでありました。各団体の垣根を越えて交流を持ちながら、このまちのために考えて事業をやっていくことが必要なのかなと思いました。また話変わりまして本日の０時をもって平成の時代は終わりをつげて、令和の時代へとなって参ります。今一度、平成という時代を思い返してみて令和の時代に繋げていくことが我々の使命なのではないかと思っております。令和の時代については我々が責任世代となり作っていかないといけないということは肝に銘じて頂けましたらと思います。また先日の会員会議所においてブロック大会について審議が可決されました。これから青年会議所の活動も活発化していくと思われます。霧島青年会議所においても現在議案の構築に奮闘しているところであると思いますが、審議をとって終わりではなく、早く行動にうつすことが大事だと思います。また各委員会、委員長を中心に事業を構築しているところだと思いますが、目的に沿った計画をたててこの理事会の場で皆さんの共感を得て頂ければと思います。そのためには、やらされる計画ではなく、この事業をすればこの地域のためになる、楽しくなると委員会メンバーがワクワクするような計画とならなければこの地域からの共感を得ることはできないと思います。また、次代の節目ということもあり青年会議所も時代に合わせて変わっていかなければいけないと思います。ＪＣだからこうでなければいけないということはなく、変えなければいけない部分は変えていくことが必要かと思います。自分たちの活動や地域に発信する仕組みなどいろいろな形で挑戦していかなければこの団体は停滞していくと思います。ＪＣ歴の長い短いなど関係なく思ったことは、発言する様にして頂けましたらと思います。本日は０時までに閉会できるよう運営していきたいと思います。しかし、通すための理事会ではなく中身を揉んで頂き学び多き理事会になることを願いまして理事長の挨拶とさせて頂きます。

1. 直前理事長挨拶

遅刻のため、参加次第。

1. 顧問挨拶

欠席のため割愛。

１０． 議長選出

審議事項：理事長　藏元　国明

協議事項、報告事項：専務理事　前田　大悟

１１．議事録作成人並びに署名人の指名

議事録作成人：橋事務局長

　　　議事録署名人：鈴吉副理事長、板元委員長

１２．出席者及び定足数の確認

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 藏元国明 | 〇 | 鈴吉美絵 | ○ | 木野田幸平 | × | 田上俊介 | 〇 | 重野隆太 | × |
| 板元幸仁 | 〇 | 盛田啓仁 | ○ | 前田大悟 | 〇 | 南郷英俊 | × | 橋正貴 | 〇 |

　　理事１０名中７名出席により定足数を充たしていることを確認した。

|  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 前田数馬 | △ | 竹下圭一郎 | × | 井上正樹 | ○ | 常盤大和 | ○ |
| 東井上陽平 | 〇 |  |  |  |  |  |  |

　　役員５名中、現段階で３名出席により定足数を充たしていることを確認した。

オブザーブ参加　菅くん　　永田くん　　徳重くん　　別府くん

１３．議題並びに資料の確認

審議事項８件　　協議事項５件　　連絡・報告事項２件　となっております。

１４．議事録承認の件

板元　　：確認し、不備なきことをご報告させて頂きます。

藏元　　：木野田副理事長より確認して不備なきとのことで連絡を受けております。

１５．議題

審議事項１：仮会員承認の修正議案の件（菅　凛太朗君）の件

鈴吉　　：詳細は委員長より説明致します。

板元　　：1月に仮会員として入会したのですが、事業への出席が出来なかったので、期間延長の修正をさせて頂きたく思います。５月のブロック事業に参加できるとのことで1カ月の延長で計画させて頂いております。また、期間延長に際し仮会員費の請求について本人の了承を頂いております。

井上　　：急遽何かあってブロックの事業に出ることができないとなった時は、どうされますか？

板元　　：当初、５月の事業は総合防災訓練しかなかったのですが、ブロック事業を追加させて頂きました。スケジュールが合わない際は、再度延長の議案を出させて頂こうと思います。

井上　　：早目に難しいとなった時に他の事業で選択できるようにしてもらえたらとおもいます。個人的にはブロックや他ＬＯＭの事業でも良いと思いますので情報を集めて頂けましたらと思います。

常盤　　：請求の期日ですが、現状５月末となっておりますがスケジュール通りに進めば５月の理事会で正会員になるので、その前までの期日にされた方が良いと思います。

板元　　：おっしゃる通りだと思いますので、理事会前日の５月２９日水曜日に修正させて頂きます。

藏元　　：他になきようでしたら、審議に諮りたいと思います。承認に関しましては、それぞれで行いたく思います。

全会一致で審議可決

審議事項２：正会員承認の件（別府　拓慎君）

藏元　　： 確認につきましては３件同時にお願い致します。

鈴吉　　： それぞれスケジュールノルマの達成、会費納入と確認しております。

板元　　：私の方で３名の方に電話連絡を行い入会の意思確認と入会後の会費の説明をさせて頂きました。

前田(大)：今回、入会時の会費についてフォーマットを作成させて頂いております。今後は、この形で進めていければと思います。互助会に関しましても通知を別にしております。色々ご意見がありましたが互助会の方も月割りでの請求とさせて頂きます。

東井上　：３名の配属は決まっていますか？

板元　　：面接の際に、立ち合った会員のところに配属とさせて頂いておりまして別府、若宮が総務研修。濱田くんは拡大広報となっております。

蛭川　　：若宮君と濱田君の正会員番号が重複していますので、修正してください。また期日が西暦表示と年号表示と見受けられますので統一頂けましたらと思います。

板元　　： 確認不足でした。正会員番号は、若宮３３０番　濱田３３１番とさせて頂きます。年号は、２０１９年で統一させて頂きます。

藏元　　：他になきようでしたら、審議に諮りたいと思います。承認に関しましては、それぞれで行いたく思います。

全会一致で審議可決

審議事項２：正会員承認の件（濱田　龍幸君）

藏元　　：審議

全会一致で審議可決

審議事項３：正会員承認の件（若宮　翔吾君）

藏元　　：審議

全会一致で審議可決

藏元　　：本年度、新入会員がとても多いです。理事役員を中心に会員全員でフォローアップをして青年会議所、この地域に必要な人財へと導いて頂けましたらと思います。

審議事項４：仮会員承認の件（荒殿　裕樹君）の件

藏元　　： 確認につきましては仮会員２名同時に行います。

鈴吉　　：詳細は委員長より説明致します。

板元　　：仮会員２名の承認計画となります。井上監事のご紹介で荒殿くん、池田くんに関しては自分と同郷になります。昨年の事業にも積極的に参加されておりました。

藏元　　：それでは、それぞれの方の説明をお願いします。

井上　　：荒殿くんに関しましては、本年行われている異業種交流会、ゴルフコンペに参加されて前向きに考えて頂いておりました。繫がりや人脈づくりをしたいという想いがありますので、入会後アクティブな会員となると思います。

板元　　：池田くんについてです。久しぶりの女性会員ですが、本人さんは保険会社で従業員として働かれております。昨年の事業に参加されて自己成長に興味を持たれております。

藏元　　：それでは審議に諮りたいと思います。承認に関しましては、それぞれで行いたく思います。

全会一致で審議可決

審議事項５：仮会員承認の件（池田　唯君）の件

藏元　　：審議

全会一致で審議可決

藏元　　：仮会員や正会員承認が続いております。オリエンテーションについて、早い時期に学ぶ事は良いことだと思いますので、開催時期については再度委員会で検討頂けましたらと思います。

審議事項６：２０１９年度６月例会計画書並びに予算（案）の件

鈴吉　　：６月例会計画書です。委員会メンバーが学び伝える形態で計画を立てております。

蛭川　　：本日、委員長に代わり説明させて頂きます。可能な限り答弁させて頂きたく思います。よろしくお願いします。

藏元　　：それでは審議に諮りたいと思います。

全会一致で審議可決

審議事項７：２０１９年度選挙管理委員会の件

前田(大)：選挙委員会について、理事長より指名しております。各資料をそれぞれ確認頂けましたらと思います。前回、顧問より事前投票について助言頂きました。今回は事前投票を１４日に設置しております。

板元　　：確認なのですが、選挙は仮会員も投票されますか？

前田(大)：いえ、正会員のみです。

藏元　　：本日可決された３名は投票権があります。一点修正です。理事・監事選出選挙ではなく理事長・監事の選出です。

井上　　：難しいのですが、理事長を選ぶのではなく理事長・監事を選ぶ人を投票するものであることを周知頂きたいと思います。

東井上　：５月例会がシニアの先輩方と合同開催となります。またブロックのキャラバンもありますので、早めに来るなど時間の配慮をお願いしたく思います。

前田(大)：あと補足ですが、出席率に関してはアテンダンスをもとに計算しているのですが、中には出席なのか欠席なのかわからない方もいらっしゃいましたので、例会の際はきちんと記載するようにしてください。

藏元　　：ご意見なければ審議に諮りたいと思います。

全会一致で審議可決

板元　　：休憩動議

セコンド　鈴吉　盛田

２１：３０まで休憩となる。

協議事項１：２０１９年度１月総会報告書並びに決算書について

鈴吉　　：３回目になります。事前配信もさせて頂きました。ご意見ありましたらお願い致します。

蛭川　　：前回理事会・正副の意見と対応をしております。

鈴吉　　：ご意見なきようですので、審議繰り上げを動議させて頂きます。

セコンド　田上　盛田

審議繰り上げ動議

全会一致で審議案件となる。

鈴吉　　：引き継ぎリストにつきましては執行部、顧問と確認し了承を得ております。

前田(大)：決算書について不備ないことを報告

藏元　　：ご意見なければ審議を諮りたいと思います。

全会一致

審議可決となる。

藏元　　：報告書のフォーマットがこの様な形となります。よろしくお願い致します。

協議事項２：誰もが夢を描けるまちづくり事業計画書並びに予算（案）について

田上　　：１月から議案を出していたのですが、前回は３回目であるにも関わらず上程を見送らせて頂きました。今回、内容を大きく変えて上程させて頂きました。予定としては４回５回６回と出させて頂く予定でおります。

前田(大)：副理事長から説明がありました、本来３回目ですが１回目という認識で確認頂けましたらと思います。背景・目的に関しては変わりなくとのことでありますがご理解よろしくお願い致します。

盛田　　：まず、本日遅参してしまいまして申し訳ありませんでした。議案に関しては内容を大きく変えて上程させて頂きました。協議のポイントとして背景、目的・日時、場所についてご意見頂きたく思います。

板元　　：質問です。コンテストはしないという認識でよろしかったでしょうか？

盛田　　：コンテストについて事業計画に謳っていたのですが、委員会で協議した結果、今回のゴールに対しては必要ではないということで、議案の中から削除しております。

鈴吉　　：事業当日は勿論ですが、事前準備やリハーサルなど全会員対象でしょうか？

盛田　　：会員全体に声をかけさせて頂くのは、ＳＤＧｓ研修のみと考えております。

鈴吉　　：その他の修正点ですが、仮会員７名のところを８名に変更してください。スケジュールの方で、８月例会となっておりますが８月総会でお願いします。

盛田　　：確認不足でした修正します。

橋　　　：面白い企画かなと思っております。現在の学校や生徒さんの反応はどの様な感じでしょうか？

盛田　　：２市１町の学校へ事前に案内をさせて頂いております。特に大学の方は、是非とも関わらせていきたい、地域への貢献という部分に興味を頂いております。霧島高校、蒲生高校はまだ先方の都合で伺えておりません。

橋　　：若い世代や学生が参加して実施できるものだと思います。委員会だけでなく会員を巻き込んで周知を図れれば良いのかなと思います。また、効果的にＳＤＧｓを学んでいただく機会とありますので、委員会で例を作成するなどして、どの様にしたら伝わりやすいのかを考えてもらえたらと思います。

板元　　：委員長はなぜＳＤＧｓが必要だと思いますか？

盛田　　：ＳＤＧｓをテーマに掲げさて頂いたのは、本会の協定・そして推進していることもあり設定させて頂きました。前回までの議案が、テーマがわかりにくいことや学生任せにし過ぎていた部分があり、この様にさせて頂きました。

板元　　：ＳＤＧｓをテーマにやっていくのであれば、学生を導くにあたってＳＤＧｓとはどの様なものなのかしっかり説明できるようにして頂けましたらと思います。あと、各店舗を学生が運営とあるのですがどの様なイメージですか？

盛田　　：物販と考えております。場所やニーズに応じた物など学生に考えてもらうと考えていたのでスケジュール含め精査したいと思います。委員会の方でイメージとしてタンブラーにＳＤＧｓが広められる仕組みを考えたいと思っております。

井上　　：ＳＤＧｓ推進はおもしろいことだと思うのですが、年当初の委員長の事業計画書でコンテストを実施して事業に繋げるという部分があります。内容が変わってしまうのは、しょうがないのですが変わったうえでゴールは同じところに持っていけるのかを整理したうえで計画立てて頂きたいと思います。あと、背景についてですが主語がはっきりしないのかなと思いますので整理してください。もう一点、工夫と効果のところは、例えばメディアといっても色々ありますので、もっと具体的に記載して頂けましたらと思います。

盛田　　：抽象的な記載が目立ちますので、次回の上程までにしっかりとした内容で記載してきたいと思います。

常盤　　：井上監事からもありましたが、背景目的の部分はもう少し考えてください。対内目的の中に発信するとありますが、誰に発信するのか？などわかりにくいです。この目的があるからこの事業をするということを再確認しながら進めないと手法が先行してしますのかなと思います。あと、検証としてはアンケート記載だと思うのですが、この内容では書きにくいのかなと思います。あと、時期的にレインプランはどうするのか？も含めて検討頂けましたらと思います。

盛田　　：対内目的並びにアンケートについて精査して参ります。レインプランについてもお店側と協議の上２プラン考えて参りたいと思います。

蛭川　　：工夫と期待される効果は、もう少しボリュームをもたせてください。

盛田　　：詳しい内容を記載できるよう内容を詰めていきたいと思います。

鈴吉　　：８月実施の事業の広告は学生に作成してもらうとあるのですが、どのタイミングで学生の方々が考えるのでしょうか？

盛田　　：調査不足でしたのでまた確認の上で記載したいと思います。

鈴吉　　：予算に係わる部分だと思いますので、副理事長や財政に確認して頂けましたらと思います。

前田　　：１回目とのいうことですが、対内目的に関しては監事からご意見頂いたところですが、ＳＤＧｓを学んで販売する部分で対外目的をどこで達成するのか？また対内目的の人財にどこでなるのかを教えてください。

盛田　　：書き方が浅かったかと思います。私のイメージとして対外目的はＳＤＧｓを学んだだけでは達成できるものではないと思います。学んだうえで店舗の運営を行う事で達成感を育みまちづくりへの参画意識を醸造したいと思っております。対内に関しては、企画会議の中でサポートを通じて導いていける人財へと成長できると考えております。

前田　　：事業計画にある説明ではあるのですが、子どもたちに未来の地域を支えていける人財になって欲しいと思う中では、販売して良かったねというだけでは、目的の達成には足りないと思います。売上金をどのようにまちづくりに活かすかが肝だと思います。自分たちが生み出したお金で地域に何が出来たのか？どのように貢献するのかだと思いますので、運用方法について考えて頂きたいと思います。対内に関しても、まちづくりに関して自分たちが、どの様に伝えていくのかをもう一歩先を見て構築していくことで事業の厚みが出てくると思います。

盛田　　：売上金の使用用途は若い世代の方々に決めてもらおうと思っていました。全体的に抽象的な記載となっておりますので、精査して参りたいと思います。

前田　　：子どもたちの意見を尊重しつつと記載がありますが、何でも子どもたちが考えていては対内目的の達成はできないかと思います。子どもたちの意見は尊重しつつ委員会が答えを持ったうえで、どの様なゴールに繋げるのかを考えて導いて頂きたいと思います。

前田(大)：財政が不在なのでコメントさせて頂きますが、予算がザックリすぎるかと思います。見積もりの添付をしてください。備忘録に関してはメールの添付はやめてください。どの様な内容でどういう返答がきているかを記載してください。大くくりで言いますと資料の精度を高めて頂きたいと思います。あと１点、売上金に関しては寄付をするということでしょうか？

田上　　：まだ詰めきれていないのですが、１から６のすべてを対象に貢献することで使用したいと考えております。

前田(大)：銀行などは何か付与するとかでない形で、取り組んでおられますので参考にして頂けましたらと思います。あとはご意見ありました背景目的と手法が串刺しになるように構築頂けましたらと思います。

藏元　　：ＳＤＧｓを推進してテーマ絞ったことは問題ないと思うのですが、直前からもありましたがまちづくりへの繫がりが薄いと思います。まだＰＤＣＡサイクルのＰＤしかやってないと思いますので、子どもたちにＣＡまで出来るような仕組みを考えて欲しいと思います。検証まで子どもたちが携わり、次どうしようかというところまでいければ育成ができるという目的に繋がるのではないかと思います。ＪＣとしても行政に提言をするところまでやることができれば導く人財となれるのではないでしょうか。

盛田　　：踏まえたうえで、再度委員会の方で考えて参りたいと思います。

前田(大)：以上で、誰もが夢を描けるまちづくり事業計画書並びに予算（案）を閉じさせて頂きます。

出席確認　前田数馬くん

直前理事長挨拶

前田　　：遅参しまして申し訳ありません。シニアという立場から意見を言わせて頂きました。あまり多く口を出しても効果的ではないと思いますので控えめにしたいと思っております。各議案を見てどうすればいいのに思うこともありますが、そこは委員会の中で色々な意見を出してもらえましたらと思います。本日は多くの仮会員・正会員の承認と喜ばしい限りであります。本日も多くの方にオブザーバーとして参加頂きありがとうございます。いつか、この理事会の場で自分磨きをするという想いでいていただけましたらと思います。本日は平成の最終日となっております。スムーズな運営を行っていた頂き平成のうちに家に帰ることができましたらと思います。

協議事項３：２０１９年度　７月例会計画書並びに予算（案）について

鈴吉　　：２回目になります。日程場所を変更しております。詳細は委員長より説明致します。

板元　　：前回メインプログラムを設けない形で考えておりましたが、何か持ち帰れるものとして交流からのビジネスマッチングと考え、現在会員の情報を収集しているところでございます。１００％を目指すにあたり動画でのＰＲや私の方から個別に連絡をすると考えております。会員間のコミュニケーションとして開始前に握手を必ずするように考えております。あと、欠席される会員に関しては理事長挨拶や委員会報告についてライブで配信出来ればと考えております。

鈴吉　　：欠席の会員への対応についてですが、ライブ配信を見た人については出席率に入れますか？

板元　　：自分の一存で判断できるところではないのですが、ライブ配信を見た人に関しては出席率には含めないと考えております。

鈴吉　　：例会の様子を配信するのですか？

板元　　：今年度の目的など、方向性の確認をするということで理事長挨拶・委員会報告だけでもと思っております。

田上　　：事前アンケートをとったものをどこで使用するのですか？持ち帰り用でしょうか？

板元　　：参考資料のなかに会員情報を入れているのですが、例会の次第と一緒に配布したいと考えております。

田上　　：今回、例会のテーマがビジネスマッチングであれば、もう少し検討された方が良いと思います。

常盤　　：本年度の例会出席率が思わしくないところであると思いますが、会員が来られていない理由は把握されていますか？７月で会員の意識を高めないとこの後の事業への協力が難しいのかなと思います。

板元　　：仕事に関して仕方ないのかなと思っておりますが調査をさせて頂こうと思います。

井上　　：ビジネスマッチングは面白いと思うのですが、例会前に行うのですか？

板元　　：名刺交換も含め例会前にできるように考えたいと思います。

井上　　：懇親会は計画書の範囲外ではあるのですが、折角アンケートを取ったのであれば渡すだけではなく有効活用して頂きたいと思います。あと計画の中で言いますとどの様な動画で参加促進を図るのか参考資料に入れて頂きたく思います。あと、理事長挨拶を中継とありますが、どの様な形で実施するのか記載頂けましたらと思います。

板元　　：工夫できるところは、工夫を追加していきたいと思います。

前田(大)：時期的に会員のモチベーションをあげていなかいといけない時期かと思います。また、次回１０月例会もあります。ストーリーを描いて一貫性をもって計画立てを行ってください。あとビジネスマッチングとして握手するだけでビジネスに繋がるとは思えません。再考してください。

藏元　　：懇親会でも良いのですが、しっかり計画立てて行った方が良いと思います。監事が言われていたのは会員の仕事ＰＲや紹介する機会があって名刺交換という流れであれば効果的だと思います。平成に色々な事業がありました。良いものは残していくために情報を収集、精査して議案に反映させてください。あと、タイムスケジュールの理事長挨拶は２０分も必要ありません。

板元　　：ありがとうございます。再度委員会の方で話し合ってましります

前田(大)：以上で協議事項３：２０１９年度　７月例会計画書並びに予算（案）を閉じさせて頂きます。

鈴吉　　：延長動議

セコンド　板元　盛田

２３：３０までの延長となる。

協議事項４：地域の発展に貢献できるひとづくり事業計画並びに予算（案）について

鈴吉　　：１回目の上程となります。背景目的を中心的にご意見頂けましたらと思います。

蛭川　　：副理事長からもありましたが、背景目的、実施日時・場所を中心に見て頂けましたらと思います。

田上　　：事業内容は社会人基礎力を学ぶことだと思うのですが、私の認識ですが、あくまで基礎力とした時にこの背景目的で良いのでしょうか？社会人基礎力　　あと、質問ですが今回対外は入れない形で考えておりますか？

蛭川　　：背景目的については持ち帰りさせてください。対外目的については、対内向けの事業と考えております。その中で、オブザーバーとして会員の従業員や入会希望者の参加を募ろうと思っております。

鈴吉　　：対象者に記載があるが、下ではオブザーバー参加者と記載があり統一がなされていないので、精査して参ります。

前田(大)：この計画は公益事業ですか？

鈴吉　　：元々、対内で考えていたのですが、公益事業として計画しております。

前田(大)：従業員等も対外として考えてください。オブザーバーも対外としてください。やることが決まっているので背景目的を再考して頂きたいと思います。

板元　　：テキストは当日販売されるのでしょうか？

鈴吉　　：当初、テキスト含め２０万であったのですが参加費１，０００円をテキスト代とさせて頂きたいと考えております。

前田(大)：場合によっては登録収益費に計上すると考えてよろしいでしょうか？

鈴吉　　：はい。その様に考えております。

盛田　　：オブザーバー２４名となっておりますが、７０名が上限ということでしょうか？

鈴吉　　：７０名にはしたいと考えております。

盛田　　：タイムスケジュール下のテーマの誤字を修正してください。

常盤　　：もう少し内容をわかりやすく記載してください。

鈴吉　　：正副時にシンプルすぎたので、ボリュームをもたせておかしくなってしまいました。再度、再考して参ります。

前田(大)：場所に対する選定理由が雑だと思います。予算も関わりますのでしっかりとした選定理由を記載してください。

前田　　：背景。現状と問題を意識して記載してください。今の背景が目的や内容とずれていると思いますので、改めて考えてもらえましたらと思います。

藏元　　：皆さんから意見は出たところだと思います。所信で社会人基礎力と謳っているので難しいところかと思いますが、先日の対談を踏まえると講師の選定も考えた方が良いのかと思います。

鈴吉　　：委員長の方が講師について別な方にあたっております。より良い事業となる様に動いて参りたいと思います。

前田(大)：以上で地域の発展に貢献できるひとづくり事業計画並びに予算（案）を閉じさせて頂きます。

協議事項５：２０１９年度　３月例会報告書並びに決算書について

鈴吉　　：１回目の報告書です。詳細は委員長より説明します。

板元　　：参加者からご意見を頂いたところでありました。お目通し頂きご意見頂けましたらと思います。

橋　　　：委員長所見の前文のところは、今回実施したうえでどうするべきであったのか。どの様にしたら最高の事業になるという改善対策も含めて記載してください。

板元　　：来年にしっかりと引き継げるよう再考して参ります。

田上　　：内容についてですが、４月例会ですが進行役の力量によって話の内容が大きく変わってしまうと思います。リハーサルをするのか、手法を変えるのかを含めて引き継いでください。グループワークは簡単そうで難しいものだと思います。踏まえて報告書への反映をお願い致します。

板元　　：ご意見を踏まえて再考させて頂きたく思います。グループディスカッションは難しいのもありますが伝える順番はどうだったのかなど個人的に思うところもありますので報告書に反映して参ります。

常盤　　：今回の例会は１００点満点で何点ですか？

板元　　：２０点ぐらいです。

常盤　　：なぜ、その点数をつけたのですか？原因は？

板元　　：メインプログラムもですが、出席率が悪かった点です。

常盤　　：私が思う原因は、計画書に書いてあることをやっていないことだと思います。計画に書いていることをやって駄目ならわかるのですが、書いてあることをせずに検証は難しいと思います。

前田(大)：所見についてです。本気でしゃべり場の中でリハーサル不足という記載があるのですが、勿論計画通りに出来ていないのもあるのですが、調査が足りていないと思います。会員が例会に何を求めているのかのニーズ。ディスカッションという手法が求められていたのか？今一度、例会を見つめ直して追求したうえで所見を見直ししてください。

板元　　：はい。ありがとうございます。

藏元　　：今年度はじめての例会であったのですが、今年度取り組んでいる２カ月前に審議をとったことが、内容を忘れてしまったという悪い方に進んでしまったかなと思います。案内を早くするだけではなく準備をするなかで改善できるところ改善するなど、なぜ早く審議をとっているのかを今一度考えて頂けましたらと思います。あと、会場選定は良かったのか？今一度見直しをお願いします。

前田(大)：以上で２０１９年度　３月例会報告書並びに決算書を閉じさせて頂きます。

監事講評

常盤　　：延長動議はありましたが、スムーズに進行出来たのではないかと思います。中身についてですが、まず新入会員３名の承認が可決されました。毎月正会員が増えている良い流れですので執行部の方はフォロー、手伝いをしていってもらえたらと思います。先ほどもありましたが、早めに審議をとるという流れが良い方向に行ってないと思いますので今一度考えて頂けましたらと思います。また来月は選挙があり次年度も動いて参ります。重ねる時期をなくすために３委員会で早めに事業を終える形で進めていると思います。早めに事業を済ませ次年度にしっかりと引き継ぐことが本年の担いであると思いますので一致団結して取り組んで頂けましたらと思います。

井上　　：まず、ゴールデンウィーク中ということもあり開会が遅れてしまった中で委任状のシステムで出席とすることはできなかったのか。今後協議してもらえましたらと思います。代理で蛭川さんが出席されていたのですがしっかり発言されており素晴らしいなと思うところでありました。また正会員、仮会員の承認がされました。自分もですが、最初なかなか入っていけない、話が出来なかったという思い出もありますので、しっかりフォローと関わりをもってもらえましたらと思います。事業系の計画も出ておりますが、ボリュームが大きいからこそ先を見て早めに動くことが大切かと思います。今後、事業が増えて参ります、２０１９年度を皆で盛り上げて参りましょう。

次回開催

令和　元年　５月１４日　　第５回正副理事長会議

令和　元年　５月３０日　　第５回理事会

１７．閉会宣言　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　橋　　正貴　君

議長・理事長（代表理事）　　　　藏元　国明　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　鈴吉　美絵　　　　　　　　　㊞

議　事　録　署　名　人　　　　　板元　幸仁　　　　　　　　　㊞

監　　　　　　　　　事　　　　　井上　正樹　　　　　　　　　㊞